

あなたの力を、高浜に貸してください！
ブルーフラッグを通じて一緒に高浜を盛り上げてくれるボランティアを募集します！

CLUB Blue+
クラブブループラス

CLUB Blue+メンバー募集

～メンバーと一緒に頑張りたいこと～

100年後もキレイな海を子どもたちへ

- ・ビーチや川、山のゴミ拾いをする
- ・楽しくゴミ拾いができるイベントの企画・運営のボランティア

だれもが安心安全に楽しめる高浜の海に

- ・車イスの補助、貸し出しの受付のボランティア
- ・水難救助員の活動への参加
- ・ライフセーバーの活動への参加
(土日のみでも、半日でも、シーズンに1回からでも大丈夫です!)

高浜らしい海の教育活動を広げよう

- ・子ども会に「プロジェクトWET」を呼ぶ
- ・「プロジェクトWET」の指導者資格を取る
- ・海の生き物観察の講師になる・補助をする。
- ・子どもを連れて、海に行く(それだけで十分な教育です!)

高浜に活気を!

- ・BLUE FLAGのPR活動を一緒にする
(お祭りやイベントでブースを出してチラシを配ったりメンバーの募集をしたりします! テレビに出ることも!)
- ・BLUE FLAGのブランドを活かした商品を開発したり、商品をお店に置いたりする(BLUE FLAGかき氷やカレー、BLUE FLAGうきわなど。)
- ・マリンスポーツのインストラクターやガイドをする・補助をする



☆ シバ = ぽろぽろぽろ!?

若狭高浜観光協会までお電話もしくは
直接お越し頂くほか、メールでもメンバー登録できます!

メールの場合は 件名: クラブブループラスメンバー希望

- ①お名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス
⑤得意なこと・興味のあること・やりたいこと(どんなことでも結構です)
を明記の上送信下さい☆

【問い合わせ先】
若狭高浜観光協会
TEL: 0770-72-0338
Mail: info@wakasa-takahama.jp

facebookのご紹介

ブループラス facebook

7月12日に若狭和田海水浴場で行われたビーチラグビーの大会にて、BLUE FLAGの活動がNHKで特集として放送されました!! その映像もUPしていますので是非ご覧ください♪ その他BLUE FLAG推進部会での様子や、海にまつわるイベント情報などが確認できますので、イイね! & シェアお願いします!

ブループラス第3弾! 表紙の写真・イラスト大募集中!

あなたの自慢のワンショットをぜひ応募下さい☆ 何枚送って頂いても構いません♪ 子どもさんが描いた絵などでも大丈夫です☆

【応募方法】 高浜町まちづくり課までデータをメール下さい。
直接お持ちいただいたも構いません。

件名: ブループラス表紙写真・イラスト
本文: ①お名前(フリガナ) ②電話番号

③ニックネーム(表紙に「Photo by ○○」と、入れさせていただきます)

【必須条件】

- ・海が入ったもの
- ・スマートフォン以上の画質
- ・被写体の人物が特定できないもの
(本人の許可があればOK)

【締切】

10月31日(土)

編集後記: 今年の夏もあっという間でしたね。BLUE FLAGという言葉も少しずつ根付いてきたように感じます。2016年5月の取得まで、あと8カ月! 観光客の方からの「BLUE FLAGってなんですか?」の質問に、高浜の人みんなが胸を張って説明できるように、私たちがわかりやすい記事を作成していきたいと思っています。取り上げて欲しい問題や取り組みなどございましたら、いつでもご連絡下さい。みなさんからの意見お待ちしております。一緒に高浜を盛り上げていきましょう☆

パンフレット制作: 高浜町まちづくり課 〒919-2292 福井県大飯郡高浜町宮崎71-7-1 Tel: 0770-72-7705 Mail: machi@town.takahama.fukui.jp
若狭高浜観光協会 〒919-2225 福井県大飯郡高浜町宮崎77-1-8(まちの駅内) Tel: 0770-72-0338 Mail: info@wakasa-takahama.jp

Blue+

ブルー プラス



What's BLUE FLAG !?
100年後もキレイな海を子どもたちへ
だれもが安心安全に楽しめる高浜の海に
若狭和田ライフセービングクラブ
水難救助員会
高浜らしい海の教育活動を広げよう
高浜に活気を!
BLUE FLAG推進部会の活動
CLUB Blue+メンバー募集

ブループラス第3弾の表紙の写真・イラスト大募集中! 詳しくは裏表紙をご覧ください。

Photo by UEMATSU

What's BLUE FLAG?

ブルーフラッグってなに? ~基本情報おさらい編~



ブルーフラッグとは…
最も古いビーチ・マリナーの
国際環境認証

※FEE(国際環境教育基金)のプログラムのひとつで、日本の運営はFEE Japanが行っています。
<http://www.feejapan.org>

1985年フランス発祥



約4,000箇所取得されています

アジア初!
2016年5月
若狭和田海水浴場で
取得予定

BLUE FLAG を取得できるということは、
高浜の海が **世界に認められる** ということです。

1回取ったら終わり!?
いいえ、1年毎に更新しなければならないので**継続的な取り組み**が必要です!
審査項目は↓↓↓↓

水質	環境マネジメント	環境教育と情報	安全性・サービス

の4項目33基準。では具体的にどんなことが求められるのか、それがどう高浜に影響していくのか、次ページ以降を見てください。



※ロゴおよびブルーフラッグビーチの写真はFEE Japan提供です

~ BLUE FLAGの取得をめざす・取得し続ける意義 ~

① 100年後もキレイな海を子どもたちへ (環境)

昔から地域の人たちによって守られてきた高浜の海。この海はいつまでもキレイであり続けられるのでしょうか…? 時代が変わり、浜掃除に関わる方が減っています。伝統を風化させないよう、BLUE FLAG をきっかけに、若い世代へ・多くの人へ、海が存在や環境について考える・行動する機会と、そこに携わる人を増やします。

また、「環境に配慮したビーチ」というイメージが付けば、そこにゴミを捨てて帰るお客さんも減るはず。高浜のキレイな海をみんなの手で守りましょう!



関連記事:p.3「100年後もキレイな海を子どもたちへ」

② だれもが安心安全に楽しめる高浜の海に (バリアフリー/監視・緊急対策)

海に入りたくても入れない人がいることを、あなたはご存じですか?
高浜はBLUE FLAGの基準を基に、バリアフリービーチを目指します。

水難救助員会・若狭和田ライフセービングクラブの方々が協力して守る高浜の海。こんなに手厚く見守られている海は全国的にみてもなかなかありません。しかし、人手不足なのが現状。国際環境認証BLUE FLAGを取得した海となれば、そこで海を守りたいと思う仲間は増えるはず。



関連記事:p.4「バリアフリー」
p.5「ライフセーバー」、p.6「水難救助員」

③ 高浜らしい海の教育活動を広げよう (教育)

こんなに近くにキレイな海があるのに…。あなたのお子さんはどれくらい海にふれていますか!? お父さんお母さん、海のことをどれくらい知っていますか!?
海のある高浜の歴史や生活、環境のことを子どもたちに伝えていきましょう。
BLUE FLAGの活動は、いつまでもキレイな海を後世に残すために、環境について伝える・学ぶ機会を増やします。



関連記事:p.7「海に密着した和田の子どもたち」
p.8「プロジェクトWET」

④ 高浜に活気を! (活性化)

観光客を呼び戻し町を元気に! 年々減っていく高浜の観光客。海離れが進む近年、「海水浴+α」の魅力が必要になります。国際的に歴史のある環境認証。日本初・アジア初の取得で注目を集め、高浜の海の価値を上げます。
観光客が増えるということは、高浜ファンの方を増やすということ。長期的には高浜に移住してくれる人を増やします。



関連記事:p.9「高浜に活気を!」

BLUE FLAGについてもっと詳しく知りたい方

① 出張説明会を行います

〇〇ビーチでもBLUE FLAGで盛り上げたい・お店で商品を置きたいからもっとBLUE FLAGのことが知りたい!という方! あなたののもとに事務局が説明に上がります☆

【問い合わせ先】高浜町まちづくり課(連絡先は裏表紙)

② イベントを開催します

BLUE FLAGとは何か? 住民の方にもっと分かって頂けるような体験や展示、講演会などを行います♪

10月24日(土)時間未定。追ってお知らせします♪

① 100年後もキレイな海を子どもたちへ（環境）

● 関連するBLUE FLAGの認証基準 ●

～ゴミに関して～

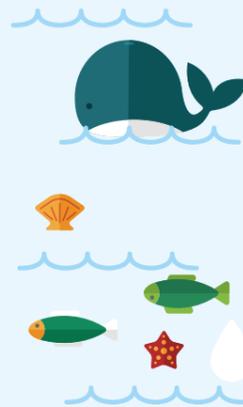
- ・ゴミの数が基準値以下であること
- ・ゴミ箱が十分な数が設置され、管理されていること
- ・回収資源は4種類以上とし、リサイクルを推進していること
- ・外国人にもわかりやすいゴミ箱のデザインであること

～水質に関して～

- ・細菌の量が基準値以下であること
- ・水面に油膜や浮遊物がなく、濁りなどの異常がないこと

～その他～

- ・生態系の保護に配慮していること



高浜のビーチはホントにキレイ!? 今回は和田浜のゴミ問題に注目!

和田浜の夏の海ってほんとにキレイですよね? でも問題はないのでしょうか!

高浜の夏のビーチのゴミは、基本的に人の手によって、主に浜茶屋さんの手によって拾われています。和田のビーチでは、浜茶屋の集まる中心部には、大きいゴミはほとんど落ちていません。しかし、浜茶屋が少ない(人の目が届きにくい)はまなすBBQ側とキャンプ場側はどうでしょう? これは今年の写真です。



この辺りには、マナーの悪いお客さんが残して行ったゴミが大量にありました。マナーの悪いお客さんが残して行ったゴミを、地元の人間が拾う。拾っている人間がいることをお客さんは知らない。そしてまた繰り返す。これって悲しいことですよね…。浜茶屋さんや関係者の方だけでは拾いきれないゴミがあり、このままではゴミの問題は悪化することが予想されます。ではどうすればいいのでしょうか?



ひとつは「ゴミを捨てる人を減らす」「マナーの改善」だと思います。取得条件にもあるように「リサイクルを推進した十分な数のゴミ箱を設置」することで、お客さんに分別を意識してもらうことはもちろん、国際的な環境認証BLUE FLAGを取得したビーチ、環境問題に取り組むビーチとなれば、ゴミを捨てていくお客さんは必ず減るはず。すぐに改善することは難しい問題ですが、5年・10年と徐々にゴミが減り、高浜の海を愛してくれるお客さんが増えることを願っていますね。

今回の問題の他にも、砂の移動や浸食の問題、イベント後のゴミ問題など、向き合わなければならないものがまだまだあります。BLUE FLAGをきっかけに環境に向き合い、町全体で解決していきましょう。

※このBLUE+で扱ってほしい記事がありましたら、高浜町まちづくり課までご連絡下さい。(連絡先は裏表紙)

② だれもが安心安全に楽しめる高浜の海に（バリアフリー）

● 関連するBLUE FLAGの認証基準 ●

- ・障がい者向けの駐車区域が確保されていること
- ・ビーチへのスロープがあること
- ・海水へのアクセス手段があること
- ・視覚障がい者向けの海水へのアクセス手段があること
- ・障がい者向けのトイレがあること

海に入りたくても入れない人がいることを知っていますか??

日本初のバリアフリービーチをつくった茨城県大洗町「大洗サンビーチ」をご紹介します。日本の多くのビーチでは、車イス専用のシャワー室もなければ更衣室もありません。通常の車イスでは砂にタイヤが埋まってしまうため、海に触れることなど不可能だと言います。そんな現状を目の当たりにした大洗サンビーチライフセービングクラブの足立さんは、より安全で快適なビーチをつくるために立ち上がりました。



浜辺に最も近い位置に駐車場を確保。砂浜までの段差や溝を無くし、なだらかなスロープを設置しました。駐車場から浜辺までの誘導などは、すべて地元のライフセーバーが補助を行っています。



水陸両用の特殊車イス。砂浜を快適に移動することも、海水に浮くこともできる車イス。ライフセーバーが無料貸出を行っています。

高浜もバリアフリービーチをめざします!!

ライフセーバーの和田救護所を改修し、車イスの方にも利用してもらえるシャワー室とトイレを2016年の夏までに設置予定! NPO法人おひさまの監修のもと、専用駐車場の確保や、そこから救護所までの移動ルートのチェックなど、実際に車イスに乗りながら確認を行っています。



水陸両用車イス「ヒッポキャンブ」
まずは2016年の夏に1台を導入予定!

最初の目標は車イスを利用する方が海にふれられる環境を整えること。将来的にもっとバリアフリーが進めば、車イスを利用する方に、SUPやサーフィンなどのマリンスポーツを楽しんでもらえる可能性も出てきます! ただ、そのためには車イスの貸出受付や使い方の説明をしてもらったりするボランティアの方や、インストラクターの方などが必要です。

そして1番の問題は「周囲の理解」。海の車イスを「めずらしいもの」として見る目線は、車イスを利用する方にとっては非常に辛いものとなります。海の車イスが「あたりまえのもの」になるには、住民や観光客の理解と手助けが欠かせません。満足して頂けるまでには長い時間がかかると思いますが、高浜町全体で一歩一歩前に進んでいきたいと思っています。

Happy-Smile♪ in 高浜 9月5日(土)

障がいのある子ども達に、自然体験を通じて海の素晴らしさ・身体を動かすことの楽しさを感じてもらい、沢山の笑顔を増やしたいと思いを企画しました。今回はライフセーバーのレスキューボードに乗って海にぷかぷか浮かんだり、浜辺で宝探しをしたりして楽しんでもらいました♪ HPに当日の様子をUPしていますので、ぜひそちらもご覧ください! 今後も定期的に行っていく予定ですので、お気軽にご連絡下さいね☆

【問い合わせ先】若狭和田ライフセービングクラブ 担当: 西岡 TEL: 0770-72-0070

ビーチから守る ライフセーバー SURF RESCUE



どこのビーチにも ライフセーバーはいるのか？

全国のビーチ約1300ヶ所のうち、ライフセーバーが常駐しているのは実は15%の約200か所。高浜だけでなく全国でもまだまだ人が足りないのが現状です。そのため、私たちは普及活動(講習会や教育活動)にも力を入れています。



BLS(CPR+AED)講習会の様子

今年は3種類のライフセービング講習会を実施。参加人数26名のうち、20名がクラブに入会し、活動を開始しました。若狭和田ライフセービングクラブのメンバーには現在約70名が登録。主に県内や関西圏在住メンバーがシフトを組むため、30名程度でシフトを編成してパトロールを行っています。社会人は休みを利用して交代で、学生はテストや講義の合間に入るため、まだまだ人数不足なのが現実。特に平日は満足できる監視人数の確保が難しい状況です。

楽しいメンバーばかりです！
仲間を募集中



関澤 大輝さん
(福井県立大学2年生)
愛知県出身

新人ライフセーバー奮闘中

講習会では正直辛い思いもしましたが、その辛さは人の命の重さであったと、監視に入った今、強く感じています。監視では、多くのお客様の中から、事故に繋がる危険性を見つける必要がある為、集中力が重要です。またお客様にご協力をお願いする時の言い方次第で誤解を招く事がある為、言葉選びには十分注意するように心がけています。

例えば1人で泳いでいるお子さんがいたら親御さんと一緒に泳ぐように促したり、お酒を飲まれて海へ入ろうとしているお客様には注意を促したりと、自分の声掛けによって少しでも水辺の事故防止に貢献出来ているのであれば幸いです。

僕たちライフセーバーの監視活動は皆様のご理解とご協力があって初めて成り立つものだと痛感する今日この頃です。和田浜をより良い所にしていけるよう、この先も頑張っていきます！

告知 全日本ライフセービング選手権 西日本地区予選会



9月13日(日)若狭和田海岸を会場に全日本ライフセービング選手権大会西日本地区予選会が行われます。ビーチフラッグスや救助レースなど海と浜で迫力満点の競技が繰り広げられます。是非、観戦におこしください！

異変に気づいたらすぐに駆けつけます！写真の山本さんは、今年の全日本ライフセービング大会で種目別優勝を果たした日本一の女性ライフセーバー！頼もしい存在です。



【問い合わせ先】

若狭和田ライフセービングクラブ
代表: 細田直彦 携帯: 090-2406-1240

活動の様子をぜひCHECKしてみてください！

若狭和田ライフセービングクラブ



②だれもが安心安全に楽しめる高浜の海に (監視・緊急対策)

●関連するBLUE FLAGの認証基準●

- ・ビーチの特徴に合わせ、十分な数の水難救助員やライフセーバーを配置し、監視や巡回を行うこと
- ・応急処置設備を十分設置すること

海上から守る 日赤水難救助員



海上から海を守る水難救助員会。高浜の海はビーチから守るライフセーバーに加えて海からも見守られています。高浜の遊泳区域はビーチからなんと700m! 普通は長くても200m程。ビーチからだけでは目が届きません。そこで大活躍するのが救助艇を使った水難救助員会のみなさん! 昔から高浜の海を守り続けてきた誇りとプライドを持って、日々の活動をされています!



2015年の活動記録



安全指導・注意喚起

溺者や迷子の捜索・密漁の監視

転覆したボートの救助

ケガをしたお客様に
応急手当

女性救助員も
活躍中!

水上安全法講習会

6月20日から3週連続の土日に、保健センター等にて日本赤十字社が主催する「水上安全法講習会」が実施されました。今回は基礎講習10名、プール講習8名、ビーチ講習9名、継続講習4名、計31名の参加がありました。来年も同時期に講習会が開催されますので、ぜひ受講してみてください☆ 講習会受講者を中心に熱い仲間を募集中です!(ユニフォーム支給)

今年初めて水難救助員の活動に参加した高田薫さんから一言☆

何も経験のない自分が、最前線の現場で役に立っているのかわかるか最初は不安でしたが、救助員の方々とはどなたも優しく、新米の私を歓迎して下さいました。私の仕事内容はウニやクラゲなど軽度の怪我の手当や、各海水浴場が遊泳可能かどうかの状況確認と関係機関への電話連絡、救助艇やライフセーバーの方から入る無線の対応、日誌への記録などです。女性は珍しいという仕事なのだと思いますが、お客様への対応や事務作業なども多く、女性も活躍できる現場だと感じました。水難事故防止の為、ベテラン救助員の方はいつも迅速且つ落ち着いて対処されていて、経験の豊富さに圧倒されました。大変なこともありますが、それ以上にやりがいのある仕事です。来年はプール講習も海の講習も受けて、資格取得を目指したいです!



高田 薫さん
(水難救護所常駐スタッフ)
高浜町出身

高浜の海を一緒に守りませんか?
女性も大歓迎です☆

【問い合わせ先】高浜町まちづくり課 TEL: 0770-72-7705

③ 高浜らしい海の教育活動を広げよう (教育)

● 関連するBLUE FLAGの認証基準 ●

・環境教育プログラムが5つ以上実施されること
(プロジェクトWET、海の生き物観察、わかめ干し体験、ライフセーバーによる安全講習など)

～海に密着した和田小学校の行事～

★ 浜掃除 5月7日(木)

和田小学校では毎年1～2回の浜掃除が伝統行事となっています。白い砂浜に向かって整列し、「こんにちはー!!」「よろしくおねがいします!」と大きなあいさつと共に浜掃除スタート! 子どもたちに「どんな気持ちでゴミを拾っているの?」とインタビューしてみると...

「砂浜がキレイになって運動会が無事に終わってくれとうれしい!」「夏になるとお客さんがいっぱい来るから、キレイにする! ロープとかのゴミがからまったらあぶないから。」「ゴミのない海にしたい。ルールを守らない人があるのがイヤだ。」などしっかりした口調で答えてくれました。守り続けたい伝統ですね☆



★ 浜辺の運動会 5月23日(土)

和田小学校では隔年ごとに浜辺で運動会を開催します。これは日本全国をみても珍しいことですね? 砂浜を駆け回る子どもたちはみんな裸足! 砂がサラサラで、ゴミがないキレイな浜でなければいけないことです。

和田の人たちは昔から地元の人の手によって海を守ってきました。100年後もキレイな海を子どもたちへ。この光景がいつまでも続くように地域で町で取り組んでいきたいですね☆



★ 海の生き物観察会 (3年生) 6月4日(木)

講師に福井県立大学小浜キャンパスの富永教授をお招きし、波打ち際の小さな生き物や海の生き物の生態系について学習しました。

今回はイシガレイ、メバル、スズキ、ヒラメの稚魚の他、スナガニ、ヨコエビ、アミなどが観察できました☆子どもたちは「たのしい!」「いっぱいとれた!」など、観察を通じて楽しく学習している様でした♪



水環境教育プログラム プロジェクトWET

プロジェクトWETってなに!? ～前回のおさらい～

WETとは「Water Education for Teachers」の略で、体験型水の環境教育プログラム。幼児～高校生まで年齢に合わせたレッスンができ、プログラムはなんと100種類以上! 楽しみながら水の環境について学ぶことができます。



ふれあい広場での様子

5月24日(日)に行われたふれあい広場でもブースを出し、述べ80人近くの子もたちにプロジェクトWETのプチ体験をしてもらいました♪若狭和田ライフセービングクラブの皆さんによる、「海での安全な遊び方」紙芝居にはじまり、「1円玉の上に何滴水をのせられるか!」や「コップいっぱい注いだ水の上に、さらに何個1円玉を入れられるか!」などの水オリンピックを開催。参加してくれた子どもたちには城山でひろったキレイな貝殻やシーグラスをプレゼントしました♪みんなまた一緒に遊ぼうね～♪

今回のふれあい広場では「体験」をしてもらいましたが、子ども会などへの出張レッスンでは、1～2時間でしっかり水について学ぶことができるプログラムになっています。大人でも「へ～!!」と思えるプロジェクトWET! ぜひレッスンを受けてみて下さい!!!



「子ども会でのアイデアが尽きた～!!」

という役員のみなさま必見!!

指導資格を持ったスタッフが、みなさまのもとへ出張レッスンに伺います!

Q.地球の海と陸の割合は?

Q.地球にある水のうち、人が飲める水の量はどれくらい??

Q.一度壊してしまった自然はもとにもどせるの???

など、アクティビティをしながら、水のことについて楽しく学べます♪

夏休み子ども会イベントや6年生を送る会など、季節を問わず室内で楽しんで頂けます♪

所要時間: 1～2時間(要望により調整可)

費用: お気持ち程度の材料費(人数や内容によります)



指導者資格講習会を実施します!

お父さんお母さん・子ども会役員・学校の先生・保育士さんなど、子どもに携わるすべての方へ

1日の講習を受けることで子ども会や学校の授業で指導をする資格を取ることができます! もちろん子育てにも役立ちます! 受けて損はありませんので是非この機会に受講してみてください!

講習会日時: 11月29日(日) 9:00～17:00

申込み先: 若狭高浜観光協会 TEL: 0770-72-0338

申込み日: 11月6日(金)

開催場所: まちの駅ぶらっとHome高浜 2Fふれあいルーム

参加費: 2,000円 定員: 24名(先着順)



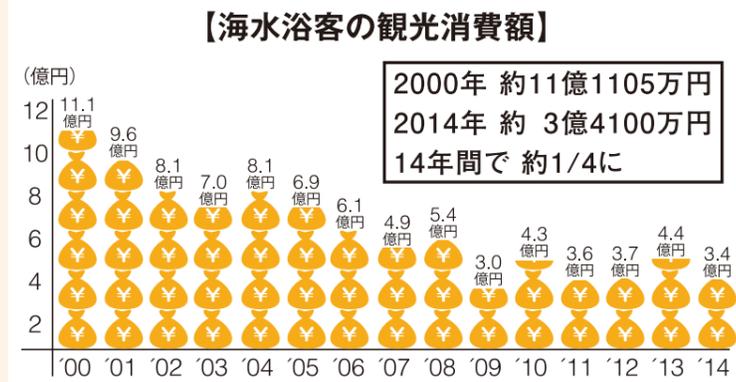
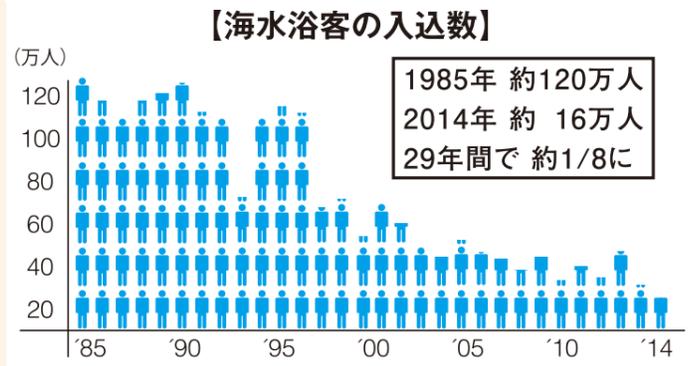
【問い合わせ先】高浜まちづくりネットワーク
担当: 山田 TEL: 0770-72-2740

プロジェクトWET



④ 高浜に活気を! (活性化)

日々の暮らしの中で、自分の町に危機を感じる人はほとんどいないでしょう。しかし、実際はどうでしょうか? 下のグラフをご覧ください。



このままで、高浜は大丈夫でしょうか…? 高浜には観光業に携わる方がたくさんいらっしゃいます。民宿・浜茶屋など、海に関わる業種はもちろん、コンビニやスーパー、飲食店、ガソリンスタンド、そこに商品を卸す業者の方など、影響を受ける方は数えきれません。

全国的にみても、海離れが進んでいます。特に若い世代での海離れが著しく、原因は様々。レジャーが多様化したことで、単なる海水浴では魅力に欠け、海水浴に「+α」を求める人が増えています。「+α」とは、SUPやカヤックなどのマリンスポーツやフライボートなどの新種のアクティビティの他、オシャレなカフェや、ブランドのアメニティを揃えた海の家など。一昔前の海水浴のスタイルとは変わりつつあり、高浜も何かしらの「+α」が必要なのではないでしょうか。

さらに、海で過ごす期間を延ばすことも課題の一つです。「海水浴」だけでは7~8月のみになってしまいますが、SUPやカヤックなどのアクティビティや、海辺のヨガ・体験教室などが充実していけば、春でも秋でも楽しめる高浜の海に変わります。その結果観光客に楽しんでもらえる期間が延び、経済効果も上がるでしょう。BLUE FLAG をきっかけに、高浜の海の価値を上げ、町全体で高浜を盛り上げていきたいですね。



※写真はイメージです

BLUE FLAG 推進部会の活動

🚢 どんなメンバーが活動してるの!?

若狭和田観光協会・和田地区委員会・和田海浜組合
和田小学校教諭・和田小学校PTA・和田保育所
和田公民館・若狭和田ライフセービングクラブ
やまぼうしの会・国際交流協会・NPO法人おひさま
高浜まちづくりネットワーク・高浜町教育委員会
の代表ほか、事業者の方
事務局: 高浜町まちづくり課・若狭高浜観光協会



★部会メンバー随時募集中★

どなたでも参加可能♪
来れる時に来て頂ければOK
参加希望の方は高浜町まちづくり課まで
(連絡先は裏表紙)

🚢 どんなことしてるの?

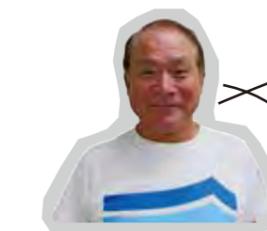
2月に結成し、月1回のペースで集まり、話し合いを重ねています。例えば…

- 和田の駅前看板の設置要望
→和田観光協会の壁面に大きな看板を設置しました!!
- BLUE FLAGの広報のためのTシャツやのぼり、うちわのデザイン検討
→浜茶屋や民宿など、観光事業者の方を中心に配布し、一緒にBLUE FLAGのPRをして頂いています! 1枚500円で販売も行っており、観光協会や、イベントのブースで購入できます☆一緒に盛り上げていきましょう!
- バリアフリー対応のビーチにするには?
→NPO法人おひさまと共に現地確認などを行っています!!

中でも「ビーチのゴミ問題」については白熱した議論が行われました! 「ビーチからゴミ箱をなくしてはどうか!?!」→「それでは逆にコンビニやサービスエリアにゴミがあふれかえってしまう。」
「マナーの悪い観光客がゴミを浜に残していく。落ちていけば拾うが、それではたちごっこになってしまって何も改善されない!」など。
議論の末出した解決策がこちら↓↓
毎日16時、ライフセーバーが監視終了の放送と共に「ビーチクリーンキャンペーン」のお知らせ☆10分間だけ、お客さんも浜茶屋さんもライフセーバーも、み～んなで一緒にゴミを拾おう! という活動することに決定! 7月11日のビーチラグビー大会を皮切りにスタートしました!!



🚢 部会メンバーから一言



和田公民館館長
村宮博明さん

「水がキレイ。それに、なんと言っても景色が素晴らしい」
「夏」の浜茶屋にいと、こんな声を幾度となく聞く。思うに、私たちはこの素晴らしい「海」の町に住んでいるということに、すっかり慣れてしまっていないだろうか。「ブルーフラッグを取る」ということは、そんな「慣れ」から私たちの目を覚ましてくれるような気がする。これをきっかけにして、「高浜の海」の素晴らしさを再認識して欲しいと思うのは、私だけだろうか。